

令和元年度島根県学力調査

教科別調査結果概要

全国学力・学習状況調査の結果等に見られた課題の改善状況を中心にまとめています。

全国学力・学習状況調査の結果等から特に成果や課題ととらえられる問題例については、調査問題を通してコメントしています。

課題に対する今後の指導のポイントについては、令和2年4月初めに各学校に配付する「令和2年度 各教科等の指導の重点」にさらに詳しく掲載する予定です。

I 小学校国語 結果から見られる成果と課題（成果○ 課題◆）

1 全体的な結果の概要

- 「書くこと」において、読み手を意識した効果的な表現の工夫をとらえることができている。
- 漢字の読みについては、すべての問題において高正答率となっており、概ね定着している。
- ◆「読むこと」において、他の領域と比較して著しく正答率が低い。
- ◆複数の文章を比較して読んだり、図やグラフなどを対応させて読んだりすることに引き続き課題がある。
- ◆漢字の書きについては、同音異義の漢字について、文の中で正しい意味をとらえて使うことに課題がある。
- ◆文の構成について、主語・述語の関係の理解には定着がみられるが、修飾・被修飾の関係の理解には引き続き課題がある。

2 全国学力・学習状況調査等における課題

- ・「書くこと」において、目的や意図に応じて情報を整理しながら、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。[小6・3二]
- ・「読むこと」において、複数の文章を比較して読んだり、図やグラフなどを対応させて読んだりする。[小6・4三]
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、同音異義の漢字を書く。[小5・1ー4] [小6・1ー4]
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、文の構成を理解する。[小6・1三]

3 領域別の状況

(1) 話すこと・聞くこと

- 相手の発言の意図をとらえたいうで、自分の立場を明確にして意見を述べることは比較的できている。
[小6・2一 正答率 76.7%]

【正答】

(小6・2一) 2

一「話し合いの様子の一語」の西田さん⑤の意見の述べ方の説明として、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 川上さん、木下さんと同じ立場であることを認めたいうえで、問題点を示している。
- 2 川上さん、木下さんの意見を認めたいうえで、新たな意見を述べている。
- 3 川上さんの意見に賛成であることを示したうえで、さらにくふうできる点を付け加えている。
- 4 川上さんの意見に反対であることを示したうえで、反対する理由を述べている。

2 「話し合いの様子の一語」
川上さんのクラスでは、校内外で、何をやるかという議題を話し合っています。話し合いの議題は、校内外で、何をやるかという議題を話し合っています。話し合いの議題は、校内外で、何をやるかという議題を話し合っています。

川上さん⑤ 「話し合いの様子の一語」の西田さん⑤の意見の述べ方の説明として、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

1 川上さん、木下さんと同じ立場であることを認めたいうえで、問題点を示している。

2 川上さん、木下さんの意見を認めたいうえで、新たな意見を述べている。

3 川上さんの意見に賛成であることを示したうえで、さらにくふうできる点を付け加えている。

4 川上さんの意見に反対であることを示したうえで、反対する理由を述べている。

(3) 読むこと

- ◆ 小5 文学的な文章の表現の効果を考え、自分の考えをまとめることに課題がある。
[小5・4三B 正答率 10.5% 無解答率 21.5%]
- ◆ 小6 説明的な文章の段落相互の関係を理解し、文の構造をとらえることに課題がある。
[小6・4一 正答率 17.1% 無解答率 1.5%]
- ◆ 小6 複数の文章を読み、内容の違いをとらえて簡潔にまとめることに課題がある。
[小6・4三 正答率 16.1% 無解答率 8.3%]

正答例 (小6・4三)
 季節という季節のことばを入れてよむ俳句を生み出しました。
 また、季節の食材を使った料理や和菓子を作って、季節感を表現しました。

④ 青木さんは、外国人旅行者に、日本人の季節を大切にすることを伝えたいと思い、レポートにまとめました。

【資料1】と【資料2】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】※○付きの数字は、段落の番号を表す。

① 俳句は、日本で生まれた。世界でもっとも短い定数詩です。五・七・五という定まった、音律の中に、季節とことばを入れて、あらわします。

② こういう俳句が、なぜ日本で生まれたのでしょうか。

③ それは、長い時間をかけてできあがった、自然や季節のうつかりに対する日本人のものの感じかたや、ことばのリズムなどからきています。

④ 日本は、四方を海に囲まれました。あたたかき島国です。

⑤ 春・夏・秋・冬の季節のうつかりが、たいへんはっきりしています。

⑥ 春は、あたたかくなって香りがけ、草木は芽をだし、花が咲き、鳥はさえずります。夏になれば暑くなって、太陽が照りつけ、雨がたくさん降り、雑草はぐんぐん育ちます。秋は涼しくなって、雑草はみどり、野山は色づいて、木々は水の実を落とします。冬には寒くなって、木々は葉を落とし、野山は静れ、北風が吹き、雪が降ります。

⑦ 遠い遠い昔から、空を同じような、こういう季節のうつかりがくりかえされてきました。

⑧ やがて人びとは、(冬)ということばだけで、心の中に、「あたたかい」「花が咲く」などのイメージを、ぼつと思い浮かべるようになりました。

⑨ (冬)ということばを聞くとき、「木々がしげる」となどのイメージ(冬)ということばでは、涼しい「みどり」(冬)ということばで「運葉」が降るなどのイメージが浮かぶようになったのです。

⑩ 日本人の、春・夏・秋・冬の季節のイメージは、こんなふうになりました。

⑪ こうした季節のイメージは、その中でくちくちしている人間のようにくちくちくちくち、深くながっています。
 (注) 雑字「繰んでやうやくわく俳句」による「春」の字。

【資料2】

日本人は、季節の変化を感じ取り、その食材を使った料理や和菓子を作って、季節感を表現してきました。

たとえば、春には、たけのこ、桜や桜もち、夏には、そうめんやすきり、秋には、松たけ、餅やくり大福、冬には、鍋料理やぜんざいなどがあります。

こうした料理や和菓子も味わうことで、季節を感じ、豊かな心を育んできたのです。

※「春」の字は、季節感を感じ取り、その食材を使った料理や和菓子を作って、季節感を表現してきました。

○「日本の四季」
 ○「季節とことば」

三 青木さんは、「日本人の季節を大切にすることを伝えたい」という目的で、より具体的に説明するために、「資料1」の内容に「資料2」の内容を加えながらレポートにまとめました。次の「レポートの一部」に入る文章を、あとの(条件)に合わせて書きましょう。

【レポートの一部】

○日本人の季節を大切にすることを伝えたい。
 日本は、春・夏・秋・冬の季節のうつかりがはっきりしているため、日本人は、昔から、季節の変化を感じ取り、さまざまなものを生み出してきました。たとえば、

このようにして、日本人は、季節を大切にすることを伝えたい。

(条件)

○季節を大切にすることを伝えたいから生み出されたものを、具体的に書くこと。

○「季節」「季節の食材」という言葉を使って書くこと。

○書き出しの言葉「たとえば、」に続けて、五十字以上、七十字以内によくまとめて書くこと。書き出しの言葉は数字にふくみません。

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○漢字の読みについては概ね定着している。

[小5・1一1 正答率 97.9%、1一2 正答率 98.4%]

[小6・1一1 正答率 97.7%、1一2 正答率 99.3%]

◆ 同音異義の漢字について、文の中で正しく書くことに課題がある。

[小5・1一4 関心 (カンシン) 正答率 18.2% 無解答率 4.1%]

[小6・1一4 努める (ツトめる) 正答率 23.1% 無解答率 6.6%]

◆ ローマ字については、促音の表記に引き続き課題がある。

[小5・1二 しっぱ sippo 正答率 H30 59.8 %→R1 48.5% 無解答率 6.8%]

◆修飾・被修飾の関係をとらえることに課題がある。

[小6・1三 正答率 22.8% 無解答率 0.8%]

三	次の文の <input type="checkbox"/> が修飾している部分を、——線1から6
	までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
1	妹は、
2	赤い
	<input type="checkbox"/> クレヨンで
3	花の
4	絵を
5	かいて
6	見せてくれた。

【正答】(小6・1三) 5

4 課題に対する今後の指導のポイント

(1) 「書くこと」

- ・目的や意図に応じて調べたことや読み取ったことを整理し、事実と感想、意見とを区別して書くなど、相手に自分の考えが明確に伝わるような書き表し方を工夫する。
- ・相手意識や目的意識を明確にして、学年段階や付けたい力に即した文章の種類や形式を選定し、その特徴を生かした言語活動を設定する。

(2) 「読むこと」

- ・深く読み取る必要感や目的意識をもてる魅力的な課題を設定し、児童と共に課題解決を意識した学習計画を立てる。
- ・文章構成、資料との照応関係、作品中の人物関係や心情の変化などを図示化・キーワード化してまとめ、それを自分の言葉で説明したり、考えを交流したりする活動を取り入れる。
- ・図鑑や事典など、多様な図書資料を読み比べたり関連付けたりして読むなど、多様な読書活動を学習に位置付け、読み取ったことをもとに自分の考えをまとめるようにする。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・漢字の読み書きの定着について、機械的な反復練習にとらわれず、漢字のもつ意味や様々な熟語などを国語辞典や漢字辞典で調べたり、文章の中で書く活動を取り入れたりして理解を深める。
- ・主語・述語や修飾・被修飾の関係について、係り受けの関係を図示するなどして理解を深め、様々な文例を用いて繰り返し学習する。

Ⅱ 中学校国語 結果から見られる成果と課題（成果○ 課題◆）

1 全体的な結果の概要

- 領域別にみると第1学年は「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」について、概ね定着がみられる。第2学年は、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質」について概ね定着がみられる。
- ◆領域別にみると第1学年は、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」について課題が見られる。第2学年は、「書くこと」について課題が見られる。
- 話合いの話題や方向を踏まえて自分の考えをもつことについては改善が見られる。（第2学年）
- 文章の構成を考えて書くことについては改善傾向が見られる。（第1学年）
- ◆資料の中から情報を取り出し、自分が伝えたいことの根拠として読み手にわかりやすいように書くことについては、第1学年は改善傾向だが、第2学年は依然として課題である。
- ◆話合いの話題や方向を捉えることについて課題が見られる。（第1学年）
- ◆文章の展開について自分の考えをまとめることについて課題が見られる。（第1学年）

2 全国学力・学習状況調査等における課題

- ・話合いの話題や方向を踏まえて自分の考えをもつ。 [中2・2二]
- ・文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをもつ。
[中1・4二②] [中2・4三]
- ・資料の中から情報を取り出し、自分が伝えたいことの根拠として読み手にわかりやすいように書く。
[中1・3二] [中2・3二]
- ・漢字の書きと品詞を理解する。 [中1、中2・1一] [中2・1四]

3 領域別の状況

(1) 話すこと・聞くこと

◆話合いの中での発言の役割をとらえることができることについては、第1学年で課題がみられる。

[中1・2二 正答 3]

[正答率 37.4% 無解答率 0.3%]



○話合いの流れを踏まえ、自分の考えをまとめて話すことについては、第2学年で改善がみられる。

[中2・2二 正答率 85.2%]

(2) 書くこと

◆伝えたい事柄について、資料を参考にして書くことについては、課題がみられる。

[中2・3二

[正答率 19.8% 無解答率 13.2%]

(正答例)
 スギやヒノキでは、間もなく利用できるまでに成長したものが多く、若い木は極端に少なくなっています。今後も島根県の森林資源を維持していくために、森林や木材について関心をもち、森林づくりのボランティアなどにも参加しましょう。

山本さんは、「太田さんへ読んだ資料を読んで、自分の記事が読んでいるところを気づかされた。山本さんは、「太田さんへ読んだ資料を読んで、自分の記事が読んでいるところを気づかされた。山本さんは、「太田さんへ読んだ資料を読んで、自分の記事が読んでいるところを気づかされた。」

(3) 読むこと

○知識と体験を関連付けて自分の考えをもつことについては、改善がみられる。

[中2・4三 正答率 78.2%]

(正答例)
 山中さんを選んだ場合
 きちんと当事者意識をもち、周りの意見に流されずに自分の考えをもって投票できるようにしたいです。
 西本さんを選んだ場合
 少数派の意見を無視することなく、自分と意見の違う人の話もきちんと聞き、対等な存在として認めあうことだと思います。

条件1 二人の意見のうち、選んだほうの名前を解答用紙に書きなさい。
 条件2 〇の前の内容につながるよう、民主主義に対しての自分の意見を書いて。
 条件3 四十文字以上、六十文字以内で書いて。

◆文章の展開について自分の考えをまとめることについては、第1学年で課題がみられる。

[中1・4二② 正答率 2.7% 無解答率 15.0%]

二 線部「本気でやりやあ何とかなるさ」という言葉について、上田さんのクラスでは、班ごとに意見を出し合うことになりました。次の「話し合いの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの様子】

上田 この言葉から、昇平のどのような気持ちを読み取れるでしょうか。みなさんの考えを聞かせてもらえますか。

今井 昇平は、草太が仲男との話ばかりをしていたから、坂の話をしたのだと思います。そこで、逆に草太に問われて、思いがけずあがったのではないのでしょうか。

小林 私もそう思います。昇平は草太の言葉を聞いて、自分が「A」と感じ、余計に坂に挑みたくなったのでしょうか。そうでしょうか。「坂に挑みたくなった」と言うより、ここでは売り言葉に買い言葉という感じで、思わず言ってしまったように読み取れます。

上田 確かに昇平は、根拠なく「何とかなるさ」と言ってしまったのだと思います。ですが、その根底にあるのは昇平が草太との関係の変化を感じている焦りではないでしょうか。二人が中学生になり、昇平は「B」という気持ちになったのだと思います。深い意味があるんですね。

今井 確かに、そうですね。深い意味があるんですね。

① 小林さんの発言の中の、「A」に当てはまる言葉を、文中の「線部」から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

② 上田さんは、佐野さんの意見を受けて、「本気でやりやあ何とかなるさ」という言葉に昇平のどのような気持ちを読み取れているのかを話しています。あなたが上田さんなら、どのような内容を述べますか。「B」に合うように、次の条件1から条件3に従って書きなさい。

条件1 上田さんの発言の中の「線部」が草太との関係の変化を感じている」とはどういうことを明らかにしようとして書くこと。

条件2 「草太」という言葉を用いて書くこと。

条件3 五十文字以上、七十文字以内で書くこと。

(正答例)

草太が仲男と仲良くなって自転車の知識も増やしたことで、自分だけが取り残されたようだと感じ、坂を登りきることで自分の力を認めさせたい

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質

○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことや行書の基礎に関することは、定着している。

[中2・1三 正答 2 正答率 96.8%]

[中1・1四 正答 4 正答率 86.9%]

4 3 2 1
板 祝 移 池

三 「私」と同じ部首をもつものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

四 次の文章中の「線部」を現代仮名遣いに直す場合、そのままではよいものには○を、直すものはひらがなで現代仮名遣いを書きました。正しいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

○今は昔、竹取のおきなど、アいふ者ありけり。野山に、イまじりて竹を取りつつ、ウよろづのことにエ使ひけり。

1 ア ○ イ まぢりて ウ ○ エ つかい
2 ア ○ イ ○ ウ よろず エ ○
3 ア いう イ まぢりて ウ ○ エ つかい
4 ア いう イ ○ ウ よろず エ つかい

4 課題に対する今後の指導のポイント

(1) 「話すこと・聞くこと」

- ・「話すこと」に指導の重点が置かれがちだが、「聞くこと」の指導を工夫することで、話し手の意図を捉える力を育むことが大切である。
- ・ほかの人の話を聞きながら必要に応じて質問し、自分の考えと比べて共通点や相違点を整理すること、話の要点がどのような事実に基づいているかを考えること等を習慣付け、話し合い学習の充実を図る。

(2) 「書くこと」

- ・自分の考えの根拠として用いる情報を精査し、必要があれば取材を繰り返したり、自分の考えとどのような関係があるのか分かるように記述したりする指導を工夫する。
- ・文章構成や表現の仕方など、評価の視点をもって互いの文章を交流し合い、読み手の助言を参考に自分の文章を客観的に捉え、よりよいものに改善していく学習の充実を図る。

(3) 「読むこと」

- ・目的意識をもたせた学習課題を設定し、単元を通した課題解決的な学習の展開を工夫する。
- ・発展的に他の文学的な作品を読み広げたり、様々なジャンルの図書資料から情報を得たりして、日常の読書活動につながる学習を工夫する。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化等について具体的な読み解き方を学ぶとともに、自分の解釈を文章表現や経験などから根拠を示して説明したり、互いの解釈を比較したりする活動の充実を図る。

Ⅲ 小学校算数 結果から見られる成果と課題（成果○ 課題◆）

1 全体的な結果の概要

- 「小数＋小数」の位をそろえる計算、加法と乗法の混合した整数と小数の計算など、これまで課題が見られた「数と計算」領域の問題について改善が見られる。
- ◆領域別に見ると、「図形」に関わる問題について課題がある。
- ◆小数倍の意味理解について、割合を表す数値と量を表す数値を混同してとらえたり、基準量より比較量が減少している場合は減法や除法になると誤判断したりする課題が依然として見られる。
- ◆既習事項を活用したり、資料の特徴や傾向を関連付けたりしながら方法や理由を記述する問題の正答率が9.3～25.5%と低く、無解答率も第5学年では無解答率29.8%の問題もあり、課題がある。

2 全国学力・学習状況調査等における課題

- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。示された除法の式の意味理解。[小5・4]
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。[小6・5]
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、その理由を記述する。[小6・14(2)]
- ・これまでの県学力調査における、小数の乗法及び除法の意味理解。
[小5・12(1)(2)] [小6・8(1)(2)]

3 領域別の状況

(1) 数と計算

○小5、小6の「小数＋小数」の位をそろえる計算ができる。

- ・ $6.17 + 2$ [小5・1(1) 正答率78.7%]
- ・ $1.45 + 3$ [小6・1(1) 正答率82.2%]

※小5、小6の「小数＋小数」の位をそろえて計算する問題で、末尾を足してしまうという課題について改善が見られる。小6は、誤答の割合が5年時は18.4%だったが、6年時は9.0%となり、大きく改善している。

- ・小5 6.19 (16.9%) ・小6 1.48 (9.0%)

○加法と乗法の混合した整数と小数の計算について、課題は残るが、小6については改善が見られる。

- ・ $5 + 1.5 \times 6$ [小5・1(4) 正答率52.3%]
- ・ $0.4 + 1.2 \times 3$ [小6・1(3) 正答率64.2%]

◆小5の「除数が整数のときの計算の考えを基にして、除数が小数のときの除法を理解している」問題について、課題が見られる。

- ・ $120 \div 0.3$ の計算を、整数でわる計算を基に考えた途中の空欄に入る数を書く。

[小5・4 正答率51.6% 無解答率1.4%]

◆小5、小6の「小数の乗法について理解している」問題について、継続して重点的に指導をしていく必要がある。(経年比較)

・割合が1より多い場合、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している。

R 1[小5・12(1) 正答率 68.2% 小6・8(1) 正答率 82.4%]
 H30[小5・13(1) 正答率 68.7% 小6・8(1) 正答率 84.9%]
 H29[小5・13(1) 正答率 66.5% 小6・10(1) 正答率 84.3%]

・割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している。

R 1[小5・12(2) 正答率 35.1% 小6・8(2) 正答率 54.4%]
 H30[小5・13(2) 正答率 34.1% 小6・8(2) 正答率 57.3%]
 H29[小5・13(2) 正答率 35.5% 小6・10(2) 正答率 57.2%]

※割合が1より小さい場合について、引き算やわり算で考える児童が依然として多い。

誤答 (基準量)÷(割合) 小5 (38.9%) 小6 (31.0%)
 誤答 (基準量)－(割合) 小5 (19.7%) 小6 (12.6%)

(2)量と測定

○小5の「直方体の体積公式を理解し、体積をもとに高さを求めることができる」問題について、改善が見られる。

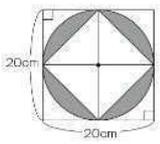
・横9cm、縦8cm、体積432cm³の直方体の高さを求める。 [小5・9 正答率 69.5%]

○小6の「正方形、三角形、円の面積の求め方を理解し、複合図形の面積の求め方を考える」ことができる。

・複雑な平面図形の面積を求めるために、求める式に合う正しい図を選ぶ。

[小6・5 正答率 82.1%]

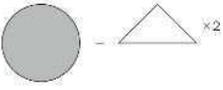
5 たけるさんは、右の図のように色をつけた部分の面積の求め方を考えています。

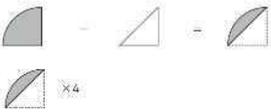


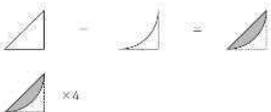
【たけるさんのつくった式】
 $(10 \times 10 \times 3.14 \div 4 - 10 \times 10 \div 2) \times 4$

たけるさん

【たけるさんのつくった式】を見て、たけるさんの考えを表している図を、1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1  ×2

2  ×4

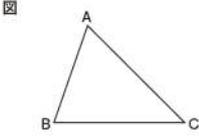
3  ×4

(3) 図形

- ◆小5の「合同な三角形をかくために必要な条件を理解している」問題について、依然として課題が見られる。
- ・合同な三角形をかくためにはどこを測ればよいかを答える。

[小5・11 正答率 25.3% 無解答率 3.3%]

11 次の図の三角形ABCと合同な三角形をかくには、どこをはかればよいですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



1 辺AB, 辺ACの長さ, 角Cの大きさ
 2 辺ABの長さ, 角A, 角Bの大きさ
 3 辺AB, 辺BCの長さ, 角Cの大きさ
 4 角A, 角B, 角Cの大きさ

- ◆小6の「円を利用してかいた正八角形の中には合同な8つの二等辺三角形ができることを理解し、該当する角の大きさを求めることができる」問題について、依然として課題が見られる。
- ・円を使ってかかれた正八角形の中にできる角の大きさを求める。

[小6・6 正答率 33.2% 無解答率 6.2%]

(4) 数量関係

○小6の「数量の関係を文字を使った式に表す」ことができる。

- ・12本入りの鉛筆がx箱あるとき、全部の鉛筆の本数をy本として、xとyの関係を式に表す。

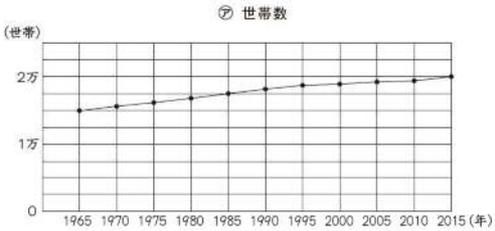
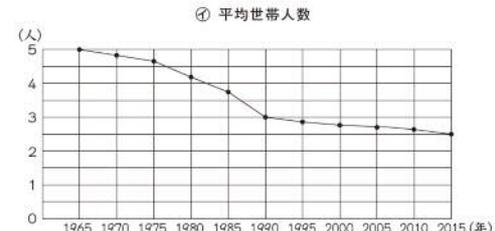
[小6・13 正答率 91.0%]

- ◆小6の「与えられた資料を読み取り、人口の変化について必要な計算や言葉を使って、説明することができる」問題について、課題が見られる。
- ・世帯数と平均世帯数の推移を表す2つのグラフから、人口がどのように変わったのかを、言葉や式を使って説明する。

[小6・14(2) 正答率 13.2% 無解答率 19.8%]

14 なつみさんたちは自分たちが住んでいる町の、世帯数と平均世帯人数のうつりかわりについて、50年間の変化を調べました。

先生：世帯とは、ひとつの家族として、生活を共にする人の集団のことです。世帯人数とは、1世帯に住んでいる人数のことです。

(2) 1965年から2015年までの50年間で人口はどのように変わってきましたか。2015年のおよその人口を求めて、言葉や式を使って説明しましょう。

なつみさん：世帯数と平均世帯人数がわかれば、およその人口がわかるね。人口は、平均世帯人数×世帯数で求められるね。

はるとさん：たとえば、1965年から平均世帯人数は5人、世帯数は1万5千世帯です。5×15000=75000で、およそ75000人とと言えるね。

4 課題に対する今後の指導のポイント

(1) 全国学力・学習状況調査や島根県学力調査の結果分析などをふまえ、児童の実態や自校の課題に基づいた重点的、継続的な指導を行う。

- ・児童のいろいろな考え方を取り上げ、解釈する活動を取り入れるようにする。その際、それぞれの表現のよさに気付いたり、見方を変えて新しい解決方法を考えたりすることを大切にする。

(2) 図形の学習では、自分から図形に働きかけることを大切にする。

- ・図形の構成要素に着目して、構成できる図形を予想したり、構成できた根拠を考え説明したりすることで、定義（約束）や性質について理解を深める。
- ・図形をかいたり、切ったり、並べたり、作ったり展開したりするなどの数学的活動を取り入れていく。

(3) 倍の意味を、図と関連付けて理解する指導を充実する。

- ・割合を表す数値と量を表す数値とを混同している傾向が見られる。低学年から数量の関係（基準量、比較量、割合）を多様な図で適切に表す活動や、かかれた図から関係を読み取る活動を取り入れるようにする。
- ・整数の乗法についての理解を基に、小数の乗法も数直線を使って整数の場合と同じように考えることで、小数倍についての理解を深めるようにする。
- ・正答だけでなく誤答やつまづきを取り上げ、なぜそれではうまく解決できないのかを考えることも大切にする。

(4) 「子どもの声でつくる算数授業づくり」を意識して、指導方法の改善を図る。

- ・自分の考えを説明したり、ノートに記述したりする活動を適宜取り入れるようにする。その際、友達や教師が表現したことをそのまま復唱したり書き写したりするのではなく、自分の言葉で表現することを大切にして自分の考えを深めていけるようにする。

IV 中学校数学 結果から見られる成果と課題（成果○ 課題◆）

1 全体的な結果の概要

- 数や式の基本的な四則計算は定着している。
- 樹形図を用いて場合の数を求めることができる。
- ◆数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすることに課題がある。
- ◆展開図や見取図を基に図形を考察したり、図形の各要素の関係を捉えたりすることに課題がある。
- ◆グラフから関数の式を求めることに課題がある。
- ◆資料の活用について、用語の意味理解やヒストグラムからデータの分布の傾向を読み取ることに課題がある。

2 全国学力・学習状況調査等における課題

- ・「関数」の領域において全国との差が大きい。[中1・11] [中2・5] [中2・6]
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。[中1・12]
- ・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉える。[中2・10]
- ・これまでの県学力調査における、図形についての計量の技能。[中1・4] [中2・7] [中2・8]

3 領域別の状況

(1) 数と式

- 正負の数の加減の計算の技能は身に付いている。
[中1・1(1) 正答率 71.9%] [中2・1(1) 正答率 89.6%]
- 指数の計算、正負の数の乗除の計算の技能が身に付いてきている。 [中1・1(3) 正答率 55.7%]
- 方程式の解の理解については改善傾向にある。
[中1・9 正答率 53.3%] [中2・3(1) 正答率 45.3%]
- ◆分数を含む文字式の加減の計算の意味理解が不十分である。
[中1・1(5) 正答率 6.7% 無解答率 20.4%]
[中2・1(3) 正答率 32.5% 無解答率 8.2%]
- ◆問題場面から数量関係を読み取り、方程式に表すことに課題がある。
[中1・10(1) 正答率 30.9% 無解答率 17.9%]

10 あんパン1個の値段は90円、ドーナツ1個の値段は60円です。ドーナツをあんパンより5個多く買ったところ、代金の合計は1350円でした。
次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) あんパンを x 個買ったものとして、方程式をつくりなさい。

【正答】

$$90x + 60(x + 5) = 1350$$

[中2・4(1) 正答率 25.5% 無解答率 27.4%]

4 アップルパイ1個の値段は160円、クロワッサン1個の値段は130円です。クロワッサンをアップルパイより4個多く買ったところ、代金の合計は2550円になりました。
次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) アップルパイを x 個、クロワッサンを y 個買ったものとして、連立方程式をつくりなさい。

【正答】

$$\begin{cases} y = x + 4 \\ 160x + 130y = 2550 \end{cases}$$

◆ 示された規則性のある場面について、計算の仕方を解釈し、例示を基に数学的に説明することに課題がある。

[中1・12 (2) 正答率 26.0%
無解答率 30.0%]

[中2・10 (2) 正答率 3.4%
無解答率 57.7%]

(2) 次の図4のように、縦の方向に a 枚、横の方向に b 枚のタイルを、すき間が1cmずつになるように並べてから、並べたタイル全体を囲んでできた長方形の長さについて調べました。

図4

さつきさんは、この長方形の縦の長さについて、次のように説明しました。

【さつきさんの説明】

縦の方向に並んだタイルの枚数は、 a 枚です。
また、タイルのすき間は全部で、 $(a-1)$ か所です。
したがって、この長方形の縦の長さは、 $6 \times a + 1 \times (a-1) = 7a - 1$ (cm)です。

はづきさんは、この長方形の横の長さについて、次のように説明しました。
次の【はづきさんの説明】を、【さつきさんの説明】を参考にして、□の形式に合うように完成させなさい。

【はづきさんの説明】

横の方向に並んだタイルの枚数は、

(2) あやめさんが、丸で囲んだ3つの数について、
(最も小さい数) + 2 × (中央の数) + (最も大きい数)
を計算してみたところ、次のようになりました。

$$5 + 2 \times 9 + 13 = 36 = 4 \times 9$$

$$11 + 2 \times 15 + 19 = 60 = 4 \times 15$$

このことから、あやめさんは、「丸で囲んだ3つの数について、最も小さい数、中央の数の2倍、最も大きい数の和は、4の倍数になる。」と予想し、この予想が正しいことを次のように説明しました。説明を完成させなさい。

説明

最も小さい数を n とすると、中央の数、最も大きい数はそれぞれ $n+4$ 、 $n+8$ と表せる。このとき、最も小さい数、中央の数の2倍、最も大きい数の和は、

よって、丸で囲んだ3つの数について、最も小さい数、中央の数の2倍、最も大きい数の和は、4の倍数になる。

(2) 図形

○回転移動させた図において、回転角の大きさを求めることはおおむね理解できている。

[中2・7 (1) 正答率 66.5%]

◆展開図から立体の構成をイメージしたりして、辺の長さや角の大きさを求めることに依然として課題がある。

[中2・7 (2) 正答率 14.0% 無解答率 42.7%]

[中2・8 (2) 正答率 13.0% 無解答率 28.4%]

(2) 右の図2は、図1の直方体の一部を切り取ってできた立体を表しています。
この立体の体積を求めなさい。

図2

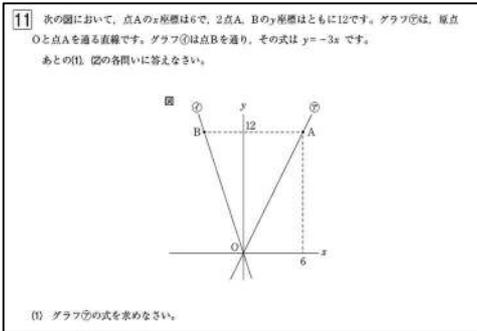
【正答】 64cm^3

(3)関数

◆グラフから関数の式を求めることに課題がある。

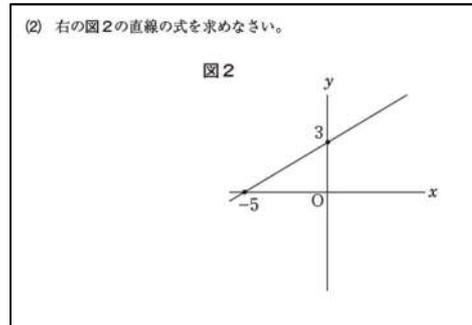
[中1・11 (1) 正答率 45.9%

無解答率 13.5%]



[中2・5 (2) 正答率 24.0%

無解答率 20.3%]



◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

[中2・6 (2) 正答率 8.5% 無解答率 32.0%]

(4)資料の活用

◆度数分布表から相対度数を求めることに課題がある。

[中2・9 (1) 正答率 24.9% 無解答率 16.9%]

◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を説明することに課題がある。

[中2・9 (2) 正答率 31.9% 無解答率 13.2%]

9 ひろきさんは、釣りが好きなおじさんといっしょに宍道湖へ釣りに行くことになりました。おじさんが宍道湖でよく行く釣りの場所として、A地点とB地点の2つがあります。おじさんは、これまでに、それぞれの場所に25回ずつ行っており、釣れた魚の数について、次のような度数分布表にまとめています。
あとの(1)、(2)の各問いに答えなさい。

	A地点	B地点
階級(匹)	度数(回)	度数(回)
0以上 5未満	0	3
5 ~ 10	0	1
10 ~ 15	3	2
15 ~ 20	7	5
20 ~ 25	8	5
25 ~ 30	6	2
30 ~ 35	1	4
35 ~ 40	0	3
合計	25	25

(1) A地点の20匹以上25匹未満の階級の相対度数を求めなさい。

(2) ひろきさんは、A地点とB地点のどちらの場所に行くのがよいかを考えることにしました。そこで、2つの場所の特徴がよく分かるように、度数分布表をもとにして、次の図のようなヒストグラムをつくってみました。そこから分かる2つの場所の特徴をもとに、あなたならどちらの場所に釣りに行くことにしますか。A地点とB地点のどちらか一方を選び、その理由を説明しなさい。

4 課題に対する今後の指導のポイント

(1) 数と式

- ・事象の中にある数量やその関係を文字を用いた式を使って一般的に表現したり、形式的な処理を施して得られた結果やその過程から新たな関係を見いだしたりする学習場面を取り入れる。
- ・分数を含む文字式の加減など間違いやすい内容は、誤答などを取り上げながら繰り返し意味理解を図る。

(2) 図形

- ・図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力を養うために、立体の模型を観察や操作、実験などの活動を重視する。

(3) 関数

- ・表、式、グラフを相互に関連付けながら、グラフの特徴や変化の割合など、関数の理解を深めるとともにグラフを用いるよさを実感できるようにする。
- ・日常生活における問題から関数の関係を見だし、問題解決の方法を式やグラフを用いて説明する課題を取り入れる。

(4) 資料の活用

- ・代表値や相対度数などの必要性和意味を理解するために、代表値や相対度数を使うことのよさが実感できるデータを扱う活動を取り入れる。
- ・ヒストグラムなどを用いてデータの分布の傾向を読み取り、数学的な表現を用いて説明し伝え合う機会を設ける。

V 中学校英語 結果から見られる成果と課題（成果○ 課題◆）

1 全体的な状況

- 英文を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、概要や要点を適切に聞き取ったりする力が概ね定着している。
- 英文を読んで、大切な部分などを正確に読み取る力が概ね定着している。
- ◆県平均正答率は、中学校第1学年が62%、中学校第2学年が53%とやや低い。
- ◆既習の語彙や文法事項等を活用することに引き続き課題があり、場面や状況に応じた英文を書く力に課題が見られる。
- ◆領域を統合して活用する力を見ると、英文を聞いたり読んだりした内容をもとに思考・判断したうえで英文を書くことに引き続き課題が見られ、無解答率も高い。

2 全国学力・学習状況調査の課題、これまでの県の課題と出題のねらい等

- ・既習の知識・技能を活用し、場面や状況に応じた英文を書く。

[中1・8] [中2・8]

- ・複数の領域を統合して活用し、対話文の内容と質問を聞き取り、その場面や状況に応じた英文を書いたり、与えられた情報を整理し、まとまりのある英文を書く。

[中1・4] [中2・4] [中1・9] [中2・9]

※「領域」とは、「聞くこと」「話すこと（発表）」「話すこと（やり取り）」「読むこと」「書くこと」を示す。

3 領域別の状況

(1) 聞くこと

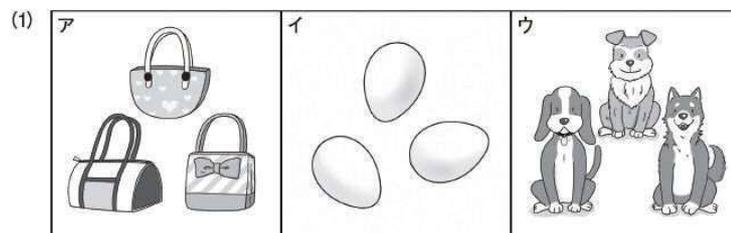
○自然な口調で話されたり読まれたりする英文を聞いて、情報を正確に聞き取る力が定着している。

- ・対話を聞き取り、適切な絵を選ぶ。

[中1・1 (1) 正答率 99.8%] [中2・1 (1) 正答率 99.0%]

中1

1 これから(1), (2)の短い対話を放送します。それぞれの対話の内容に合った絵を、次のアからウの中から1つずつ選びなさい。対話は2回ずつくり返します。



【正答】
ウ

放送内容

Hana: Do you have any pets, Alex?
Alex: Yes, I have three dogs.

○まとまりのある英文を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る力が概ね定着している。

- ・長めの英文の概要を聞き取り、適切な日本語を選ぶ。

[中1・3 正答率 74.6%] [中2・3 正答率 73.8%]

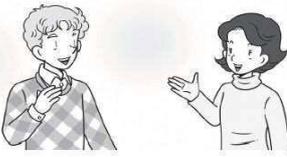
◆質問や依頼などを聞いて適切に応じることに課題が見られる。

- ・長めの対話と質問を聞き取り、英語で答える。

[中1・4 正答率 8.0% 無解答率 22.4%] [中2・4 正答率 2.7% 無解答率 32.7%]

中2

4 これからジム (Jim) とカホ (Kaho) の対話を放送します。対話のあとで、内容について英語で質問します。その質問に対する答えを、主語と動詞を含む英文1文で書きなさい。対話と質問は2回くり返します。



放送内容

Jim: Kaho, I saw you at the department store yesterday.
Kaho: Oh, really? I went there with my parents.
Jim: I see. I went there with Ken.
Kaho: Did you go shopping, Jim?
Jim: Yes, we did. How about you?
Kaho: We went there to have dinner.

Question: Why did Kaho and her parents go to the department store?

【正答例】

They went there to have dinner.

(2) 読むこと

○物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取る力が概ね定着している。

- ・図表の要点についての質問への適切な答えを選ぶ。

[中1・7 (2) 正答率 80.6%]

- ・英文の概要を表す適切な絵を選ぶ。

[中2・6 (1) 正答率 89.1%]

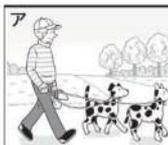
中2

6 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) ジェーン (Jane) が自分の父について話しています。英文の内容に合う絵を、あとのアからエの中から1つ選びなさい。

Can you see that man with a black cap? He's James, my father. He is walking with two dogs. They are our pets. The black one is Becky, and the white one is John. I love them.

ア



イ



ウ



エ



【正答】
エ

(3) 書くこと

◆語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことに課題が見られる。

- ・対話の流れを踏まえて適切な英文を書く。

[中1・8(3) 正答率 26.2% 無解答率 23.8%] [中2・8(2) 正答率 6.8% 無解答率 33.9%]

中2

8 次の(1)から(4)の対話の()に入る適切な英文を、それぞれ1文で書きなさい。
英文にはそれぞれ[]内の語を使用すること。ただし、必要があれば[]内の語を適切な形に変えてもかまいません。

(2) Mr. Hill: Yuka, try to read this book.

Yuka: Oh, it's an English book, right? (). [look] It looks difficult (.)

Mr. Hill: No, it's easy. You can enjoy it.

【正答例】

◆自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことに課題が見られる。

- ・英文の内容を理解し、自分のことについて、まとまった内容で英文を書く。

[中1・9 正答率 11.9% 無解答率 17.3%] [中2・9 正答率 3.6% 無解答率 15.8%]

中1

【正答例】

[ベッキーの質問を日本語で書く]

(例) あなたは、誕生日に何がほしいですか。

[ベッキーの質問に対するあなた自身の答えとその理由を、主語と動詞を含む英文で書く]

(例) I want a computer.

I study English with it.

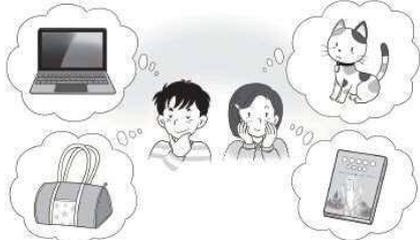
9 あなたに今日、留学生のベッキー (Becky) から電子メールが届きました。ベッキーの【メッセージ】を読んで、あとの質問に答えなさい。なお、あとの絵を参考にしてもかまいません。

【メッセージ】

Hi.
Today is your birthday.
What do you want for your birthday?
Becky

まず、ベッキーの質問を日本語で書きなさい。

次に、ベッキーの質問に対するあなた自身の答えとその理由を、主語と動詞を含む英文で書きなさい。文の数はいくつになってもかまいません。



4 課題に対する今後の指導のポイント

(1) 生徒が英語に触れる機会を充実する。

生徒の関心のある事柄や日常的な話題、社会的な話題について、まとまりのある英文で自分の考えや意見、気持ちなどを話したり書いたりする学習を日常的に行う。

(2) 目的や場面、状況を明確にした言語活動を設定する。

聞いたり読んだりした内容について、自分の考えや気持ち、意見や感想を話したり書いたりして伝え合う領域統合型の言語活動を設ける。

(3) 語彙や文法事項等の指導は言語活動と関連付け、活用しながら定着を図る。

語彙や文法事項の指導は、言語活動を通じて、生徒が思考・判断・表現することによって定着を図る。また、小学校で学習した語彙や表現などについては、中学校の言語活動において繰り返し活用し、生徒が話したり書いたりして表現できる段階まで確実に定着を図る。